

## 理事会 会議録

日時	令和4年1月9日(日) 15時00分~17時05分
場所	めぐみ野サッカー場 A本部室
出席者	菅原英俊副会長・加藤理事長 他、協議会理事 及びブロック長(含:代理)
記録者	広報理事 菅原一美

### 宮城県サッカースポーツ少年団協議会理事会

#### 協議事項

- (1) 今後の主な事業等について
- (2) 宮城県サッカースポーツ少年団協議会・宮城県サッカー協会4種委員会の整理について
- (3) リーグ戦ワーキンググループ進捗状況
- (4) 令和4年度事業計画案の策定について
- (5) その他(1/11 常務理事会・1/15 宮城県サッカー協会ヒヤリング)等

[ 進行 ] 千田副理事長

#### 【開会の挨拶】

菅原副会長

新年の挨拶をさせていただきますとともに昨今の「コロナ(オミクロン)」の感染再拡大状況は、大変気になるところであり、皆さんも十分に留意して頂きたい。

また、本日の協議事項にある「リーグ戦のあり方」について、確認をしまいりますが、過去のスタンダードにとらわれず意見交換を頂き、各ブロック長は、ブロックに持ち帰り、各チームへの説明をお願いすることになりますので、よろしく願いをする。

加藤理事長

新年のご挨拶に続けて、リーグ戦ワーキンググループに参加を頂き、本日の理事会にも出席を頂いた宮城県ユースダイレクターの千葉拓氏を紹介。

・千葉拓ユースダイレクターあいさつ

新年のあいさつに続けて、今後のリーグ戦の方向について、「宮城県」として進むためにも「協力・理解・努力」が必要になってきます。よろしく願いをする。

協議事項へ

加藤理事長より引き続き資料について説明

(2) 少年団協議会・4種委員会の整理は、前回の理事会での承認を得ています通り、継続案件とする。

令和4年4月10日までに、各事業部・各ブロック共に担当者名の確認が出来るようお願いをする。配付資料については、10ブロックの人材資源を確認するとともに、今後の事業計画で検討する際の基礎数字にもなっています。

斎藤競技部長

全農杯宮城県大会は、松島フットボールセンターの施設利用不可にともなう延期で2月第一週週末(2/5.6)

で実施を予定しているが、現時点で延期ギリギリの状態を承知してもらいたい。

但し、原則として新人戦の上位チームから優先的に出場する権利を保持しているものと捉え、参加チームの意向確認順は、新人戦の結果順位通りとする。

令和3年度の本大会は、1月下旬の予定であるが、コロナの現況から日程・内容は流動的で不透明な状態にある。

令和4年度の東北地区交流大会については、東北大会自体のレギュレーションは、厳しく、後に展開されてくる大会要項を参照頂きたいが、出場チーム内での「スポーツ指導認定員2名必須」であるなど、大会規定を承知しているチームの参加が適当ではないかとも考えている。

### (3) リーグ戦ワーキンググループより

伊勢技術部長(ワーキンググループ座長)

10名のメンバーで現状確認から協議を開始。

新たな方針として、リーグ戦が、各地区ブロックのリーグ戦で終わるのではなく、各チームが、創設される「トップリーグに入ることを目標にしてもらえようようにトップリーグを示し、その活動の方向性を全県単位で共有していきたいと考えている。

別添の配付資料の通り、

4月～6月 20分ハーフ 10試合

7月～12月 15分×3ピリオド として試合に出ていない選手がいないようにも実施

・実施に際しては、「リーグ戦運営主体」を競技部とは別に設置することが必要

・4種の年間カレンダーの再検討・緒性は必須

千葉拡ユースダイレクターより・・・2種・3種でも実施されている体制で、青森では3部リーグ構成で実行されているようです。

【選手育成が最大の目的】

○佐久間審判部長からの質問

トップリーグ及びリーグ戦の審判についての取り決めなどはあるか。 回答：これから。

○齊藤競技部長より

早急に実務的な作業に掛からないと4月実施は間に合わない。

トップリーグを決めて、すぐに動かないと間に合わない。

『1/23を最終決定日として、4月スタートをしたい。』

以下、出席者各位から、、、

総意としても「トップリーグ構想」は良いと考える。

・問題点として、【地区リーグが作れない】

・全少参加資格規定がリーグ戦参加必須

この場合に、

規定試合数に到達するリーグをブロック単位では実施不可能

U10・11のリーグ戦も行うなら地域をまたいだリーグ構成では、年間規定試合数をこなせない

さらにリーグ戦実施規定の「土日で2試合」の縛りがあって、試合数をこなすことは、多くのチームでこなすことは出来ない。

< の補足 >

見た目のU12で土日2試合とU-11で土日2試合をとという試合数規定に対して、規定通り実施している。としても6年生だけで構成されているチームは稀であり、実際には、規定通りの試合数で実施しているとしながらも4・5年生は、土日で4試合出場することが普通にあった上でリーグ戦は行われている実状。

その中で、全少参加規程に沿うために地域をまたいだリーグ構成による11チームによるU12のリーグ戦を行った場合に、U10・U11のリーグ戦を行うことは、日程的に不可能となる。

では、全少に参加しないならリーグ戦に参加する必要はなくなる？

チーム登録・選手登録者人数の減少に向かうことになる。

U12(トップリーグ・地区リーグ)の日程・試合数消化を優先すると、3・4・5年生大会の実施すらスポンサー問題も含めて実施そのものが困難となる。

コロナ禍において、会場確保も出来ない中（学校等公共施設の使用不許可状態）で、試合数をこなす日程を組むことも不可能。  
現状のブロック単位での実現は不可能。ブロックを壊せなければ実施は出来ない。  
スポ少・体協・教育委員会の意向にも、従わなければ行けない中で日程を組むことが非常に困難。

- ・そもそもトップリーグ創設の目的は、  
「強いチーム同士のリーグを作る」ことが目的なのか、  
「リーグ戦を行うことにより多くの子ども達がゲームに出場して楽しむ」ことが目的なのか  
「規定試合数をこなすことが出来ないチームを消滅させる」ことが目的なのか  
「弱小・少人数規模のチームは全少に参加させず、存続が出来ないようにする」ことが目的なのか
- ・都道府県によってリーグ戦試合数の規定は異なっているのが現状だが、宮城県は理想の試合数を目指して実施を目指して検討している
- ・リーグ戦実施により、補助金を得られるが、補助金をもらわないと考える方法もある？
- ・規定試合数をこなすことのためにかかる移動と時間の負担。リーグという形式でなければならぬのか

以上のような内容について、各ブロックに所属するチームへの回答が非常に困難な現状。  
各チームへの説明は、現況のお知らせのみ。 但し、実施までに時間は無い

#### (5) その他

- ・2022年度登録時の日本サッカー協会個人登録費用は不要となります。( - 700円)  
登録者人数を増やしていきたいという意向から。
- ・4種の活動にスポンサーが付く話し有り
- ・1/15(土)県協会にて4種ヒアリング。・・・リーグ戦についても議題に。

松尾キッズ委員長より

2021年度のキッズフェスティバル実施の際、協力を頂けたことへのお礼と感謝の報告とともに  
2022年度の実施及び様々な協力もまたお願いをする。  
2022年度の計画も既に頂いているブロックもあり、改めて実施協力をよろしく願います。

#### 【閉会の挨拶】

山口副理事長

2022年出鼻をくじかれるコロナの感染拡大状況ですが、2022年度も皆様のご協力を頂きながら  
しっかりと、円滑に行われることも願っております。

以上をもって、本日の理事会を終了とする。

17時05分閉会（次回理事会開催は、未定）

2022年1月9日(日)

会議録署名人

市川俊雄

記録者 菅原一美

